

18
FOR ADULT

愛依ちゃん
の

アル
ハイ
ト







「やつと授業終わった〜♡」

「はあ〜マジで授業だるい〜W
このあとカラオケ行く♡」

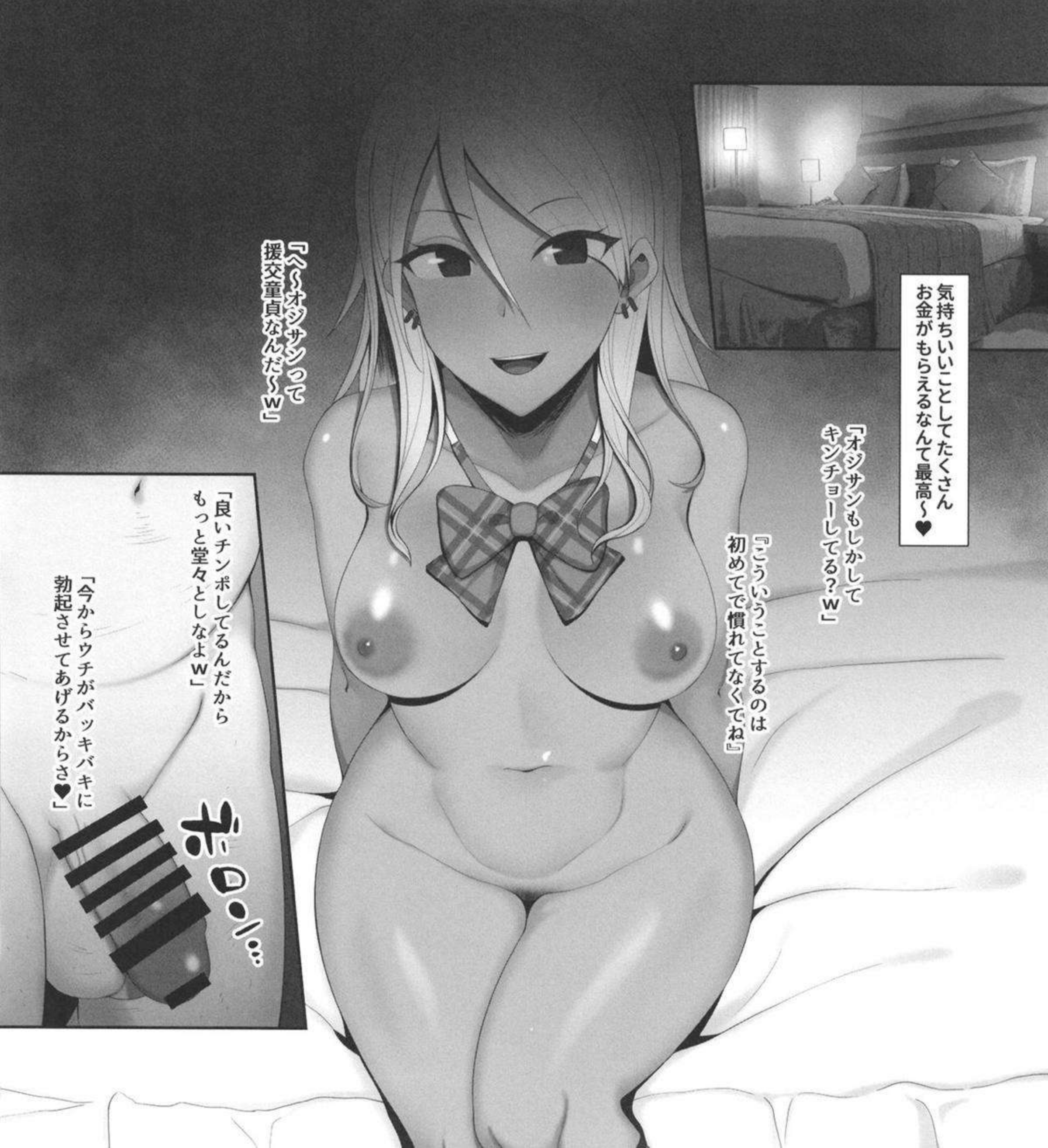
「ごめんウチ今日
バイトだから無理だわ」

「バイトつて援交っしょW」

「お金を稼ぐなら
肉体労働が一番っしょW」

「肉体労働言うなしW
じゃあまた明日ね〜」

「ごめんね〜」



気持ちいいことしてたくさん
お金がもらえるなんて最高〜♡

「オジサンもしかして
キンチョーしてる?W」

「こういうことするのは
初めてで慣れてなくてね」

「へ〜オジサンつて
援交童貞なんだ〜W」

「良いチンポしてるんだから
もっと堂々としなよW」

「今からウチがバッキバキに
勃起させてあげるからさ♡」



「今日はオジサンの金玉がカラッポにならなまで気持ちよくしてあげるからね♡」

「んっ…ふ…フ…フ…」

「オジサンの鼻息荒すぎてマシでウケるんだけどW」

「だってJKとキスしてると思ったらつい…」

「オジサンかわいい♡W
ほらもつと口開けて♡」

「んっ」

「んっ…くちゅ…
ぬぶぶちゅう〜♡」

「んふ…はあ〜♡」

「んっ」

「思ったとおりオジサンのチンポめつちやデカくやばいんだけどW Wキスしながらチンポ弄られるのってそんなに気持ちよかつた? W」

「んっ」

「んっ」

「愛依ちゃんの唇ぶるんぶるんだし手もすべすべですごく気持ちいい♡」

「じゃあその口でもつとバツキバキに勃起させて気持ちよくしてあげる♡」



「それじゃいただきま〜すw」

「じゅぶぶ〜♡」

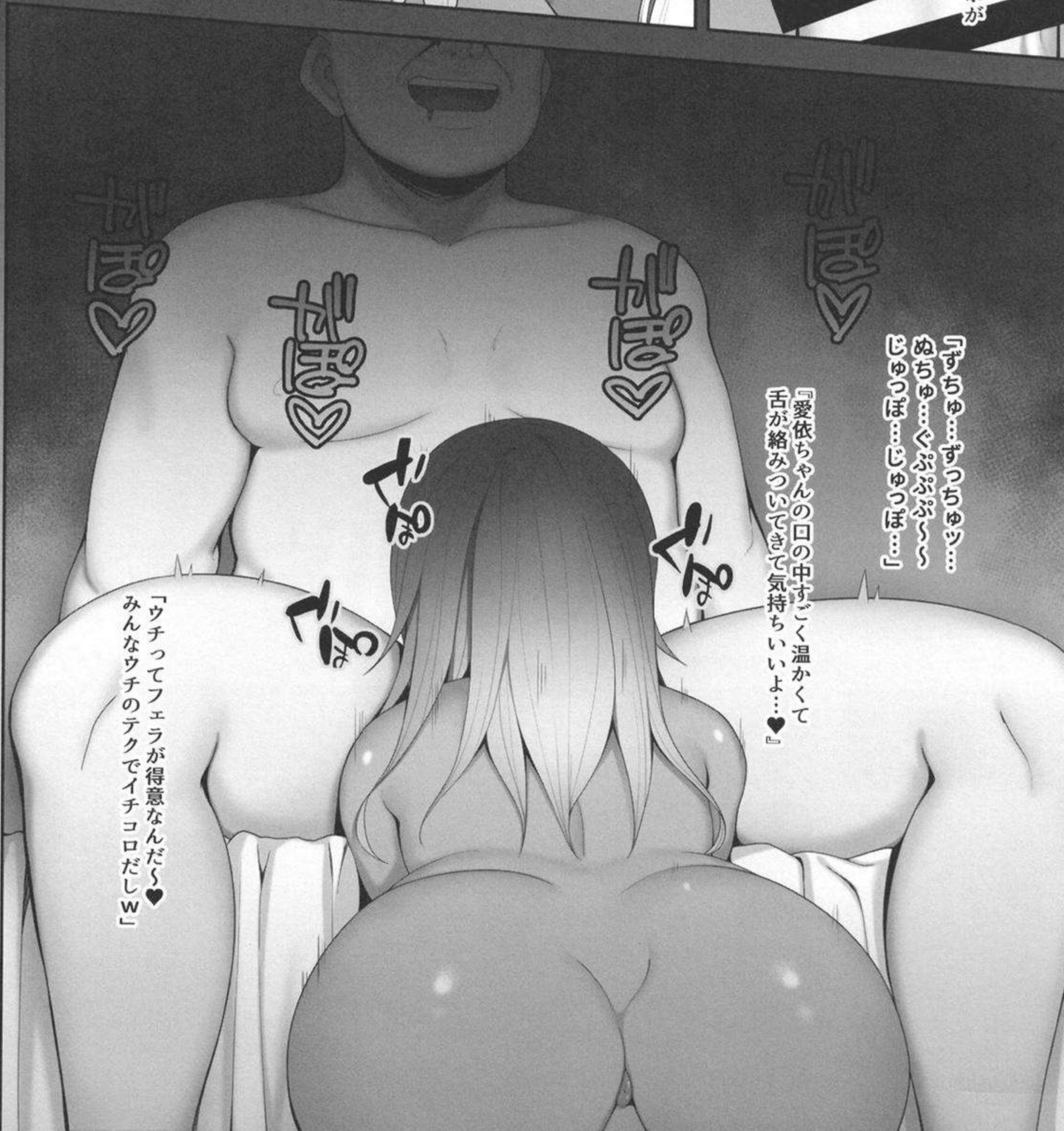
ぷちゅわん
ちゅわん
うわん

ちゅわん...
ちゅわん...
ちゅわん...

「♡♡♡はあぁ♡♡」



「ちよつと舐めただけでチンポが
めっちゃビクビクしてるw」



「ずちゅ...ずちゅ...
ぬちゅ...ぐぶぶぶ...
じゅっほ...じゅっほ...」

「愛依ちゃんの口の中すごく温かくて
舌が絡みついてきて気持ちいいよ...♡」

「ウチってフェラが得意なんだ♡
みんなウチのテクでイチコロだしw」

かほ♡

かほ♡

かほ♡

かほ♡

かほ♡

かほ♡

かほ♡

「んっ…オシサンのおつといチンポ
もう完全にバツキバキだよ♡」

「このチンポの大きさは反則っしょw
回の奥まで全部はいらないかもw」

「愛依ちゃんっていつも
うっすうことよくやってるの?」

「もしかして援交のこと言ってるの?
こんなにチンポを勃起させておいて
オシサンってお説教じちゃう系?w」

「いや…
すごく手慣れてるから気になって…」

「うっ…お金かかるんだよねw
それにエツチなことが好きだからねw」

「ぐっ…そうなんだ…」

「うっやっで手で挿られるの
めっちゃ気持ちSSOしよw」

「あっ…ああ…
くっ…やばい…」

「うっ…愛依ちゃんもう…
イキそうだ…ッ!」

「汚れるから出す時は
口の中に出してね!」



「はあ〜♡はあ〜♡
愛依ちゃんのフェラすごく
気持ちよかったよ♡」

「ほ〜ひふはとおほったしちゃん！
（もう〜死ぬかと思ったじゃん！）」

「ごめん：気持ちよすぎてついつい…
こんなに射精したのは初めてかも♡」

ぬちゅあふ



「んぐ…
おひひやんのしえーえひ
しゅごひふりつふり♡
（ん…オシサンの精液
すごいプリップリ♡）」

ピタッ



「んっ…んちゅんちゅん…♡」

んちゅんちゅん♡

んちゅんちゅん♡

んちゅん♡



「んっ…ふう〜♡
んちゅんちゅん♡」

ゴクゴク

んちゅん♡

「す……は……
す……は……♡」

「ちよつとオジサン匂い嗅ぎすぎっしょW」

「だって愛依ちゃんから
すぐいい匂いするからさ♡」

「えーそんないい匂いする？W
ていうかむしろ汗臭くない？W」

「香水と汗が混じった
濃厚な良い匂いだよ♡」

「うわらちよつとオジサン
変態っばいんですけどWW」

んん

おにゅう

「そんなことないって普通だよ普通」

ス

「それにさつきからなんかお尻に
硬いモノがあたってるんですけどW」

「愛依ちゃんの匂い嗅ぎながら
おっぱい揉んでたら誰だつて
すぐ復活しちゃうよ」

「てかさんなにウチの匂い好きなら……
オジサンもつと濃厚な匂い嗅ぐ？W」

「はあはあ……
愛依ちゃんのオマンコ……♡」

「もうオジサン顔近すぎりW
そんなに近くで見られたら
恥ずかしいじゃんW」

「ごめんごめん……
舐めてもいい？」

「うんいいよ♡」

あはは♡

んん



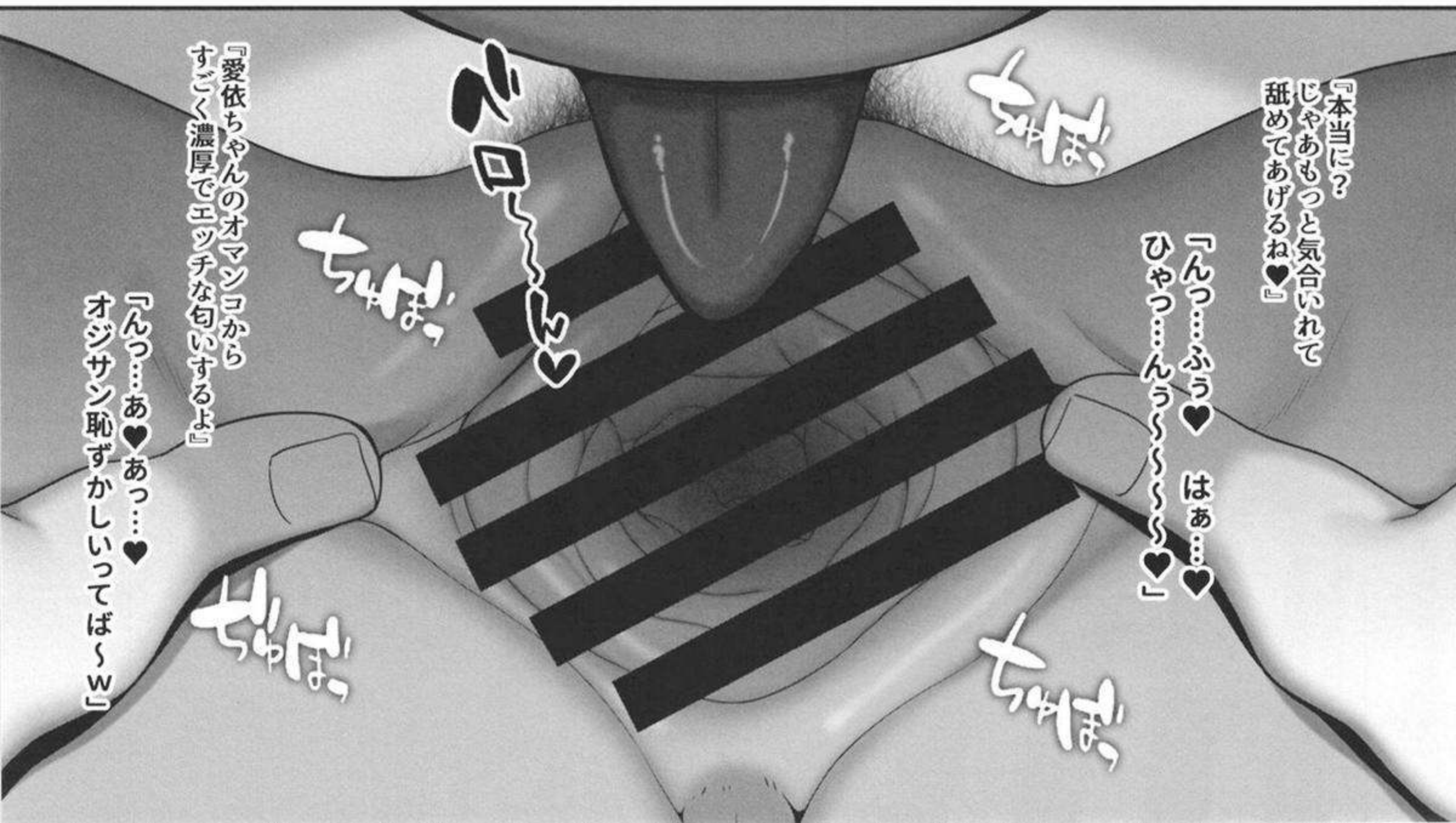
「んっ…ぶっ…
愛依ちゃんのおまんこ
すごく美味しいよ♡」

「あっ…♡
オジサンのおまんこ
気持ちいいかも♡」



「んっ…んっ…んっ…
ずちゅちゅちゅちゅ♡」

「もっ…オジサン犬みたい♡
そんなにウチのおまんこ美味しい？W」



「本当に？
じゃあもつと気合入れて
舐めてあげるね♡」

「んっ…ふう♡ はあ…♡
ひゃっ…んううう♡」

「愛依ちゃんのおまんこから
すごく濃厚でエッチな匂いするよ」

「んっ…あ♡ あっ…♡
オジサン恥ずかしいってばW」

「はっ…はあん♡
はあ〜♡」

「舐めても舐めても愛依ちゃんの
エッチな汁とんとん溢れてくる…♡」

「オジサンのクンニすごい…
めっちゃ気持ちいい♡」

「んっ…すりゅ…
ずじゅじゅ〜♡」

「は…あ〜♡
マジでこれヤバいわ…♡」

「ずじゅじゅじゅ〜♡
ずじゅじゅじゅ〜♡」

「はっ…♡あっ…んああ♡
んふあ…はあああ〜♡」

「愛依ちゃんのマンコすごく美味しい♡
いつまでも舐めていられるよ…♡」

「オジサンのクンニやばいW
なんかスイッチ入っちゃった♡」

「オジサンのクンニ舐めたい♡
オジサンのクンニ舐めたい♡」

「はっ♡
オジサンのクンニ舐めたい♡
オジサンのクンニ舐めたい♡」

「それじゃ挿れるね♡」

「愛依ちゃんコンドームは？」

「今日は大丈夫な日だから平気だよ♡
ナマでこのデカイチンポで味わってみたいし♡」

「いやでも…」

「オジサンもしかして
ナマでやるのイヤなの？W」

「そんなことないです!!
JKとナマでセックスしたいです!!」

「あははマジでウケるW
オジサンの顔必死すぎW」

「それじゃオジサンの
援交童貞いただきま〜す♡」

「ナマのチンポがJKの…
愛依ちゃんのマンコに…」

「んはあく…♡
まだ入り口なのにこのチンポすご〜W」

はあく〜
マジでこのチンポやっばい…
挿れただけで気持ちいい♡

一番奥のところまで
オジサンのチンポきた〜♡

「あつ♡はあ…♡はあああ♡
オジサンのチンポやばすぎ♡」

「愛依ちゃんのオマンコもすごい締まりで…
さつき出したばかりなのにすぐイッちやいそう」

「ふっ…くう…はああ♡
見てオジサンの極太チンポ…
奥の深いとこまで届いてるよ♡」





あーっ

「はっ♡はっ♡はっ♡
はああああ〜♡
あっ…ふっ…くっ♡」

あーっ

はっ

はっ

はっ



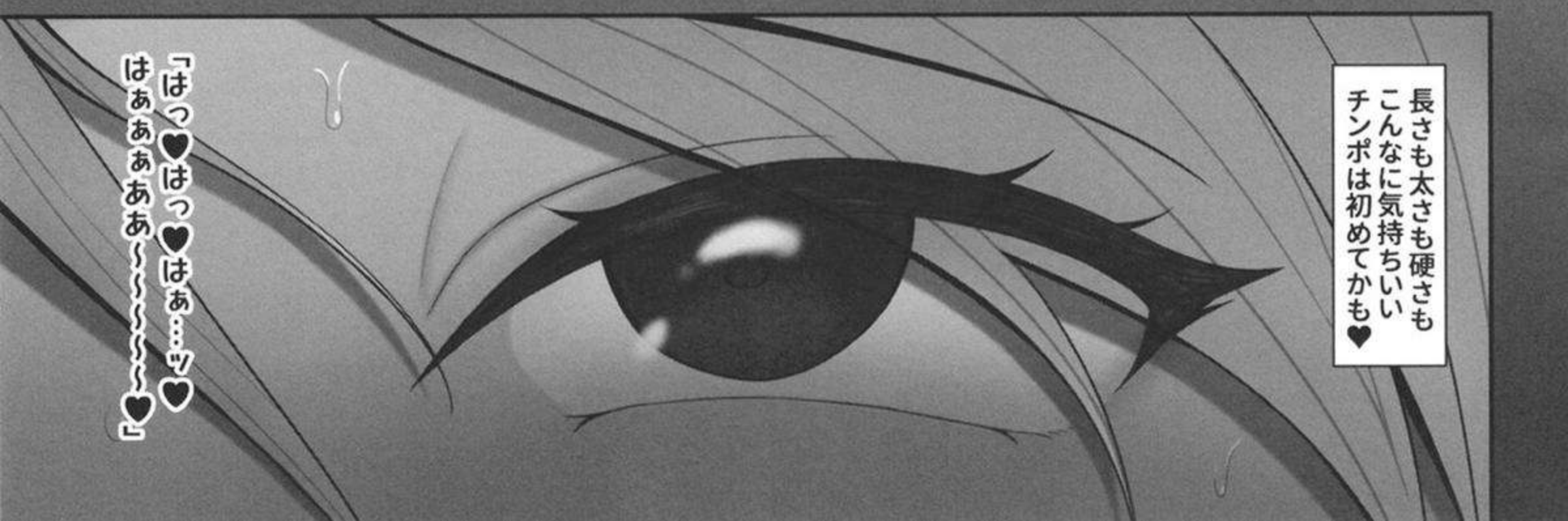
「あっ♡あっ♡
はあああっ♡」

「くっ…愛依ちゃん…
ああ…はあはあ…♡」

はっ

はっ

はっ



長さも太さも硬さも
こんなに気持ちいい
チンポは初めてかも♡

「はっ♡はっ♡はあ…♡
はああああ〜♡」

「あーん♡♡♡♡♡
は♡は♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
はあああああ♡♡♡♡♡」

今まで知らなかった気持ちいいところを
オジサンのチンポで刺激されてる…ッ

「愛依ちゃんのJKオマンコが
チンポに絡みついて離さないよ…ッ」

「んあ…だつて…
めっちゃ気持ちいいんだもん♡
中をグイグイ突き上げてやば…ッ♡」

「んっ…ちゅっ…♡♡♡♡♡
んっ…んっ…♡♡♡♡♡」

「くちゅ…ちゅちゅ…おはあ…
愛依ちゃん…もう…イキそうッ」

「んっ…♡♡♡♡♡
おっぱいの中に出して…♡♡♡」

『あっ…あああ…
くっ…出るっ！』

『あっ♡あっ♡あっ♡
はあああああッ♡』

マンコの奥にオジサンの熱い精液を
いっぱい出されてるのがわかる♡

『はあああ…JKマンコの中出っ…♡』

「はっ…ああ…♡
は…♡は…♡」

『ふう♡
これほど気持ちいい
セックスは初めてだよ♡』

「奥さんとヤルよりも
気持ちよかった？w」

『妻はあまりセックスが好きじゃなくてね…
愛依ちゃんのほうが何倍も気持ちいいよ♡』

「えw
こないだチンポしてるのにもったいないw」



「こんなに射精したこと
今までないよ……♡」

「うわあ……ホントだW
すごい量の精液出てるW
危険日なら即妊娠だねW」

「ずっとご無沙汰で
愛依ちゃんのオマンコが
とても気持ちいいから……♡」

ぬるぬる

「ウチもメツチャ
気持ち良かったよ♡
オジサンのチンポ
気に入っちゃった♡」

「あつ……愛依ちゃんなにを……っ」

うわあ……

「オジサンのチンポ
気持ちいいんだもん♡
もういつかいシよ♡」

「待つてさすがに二回目は……」

「大丈夫ウチに任せて♡
チンポをきれいに舐め取って
タマを揉みほぐして」

もにゅ

「愛依ちゃん……あつ♡」

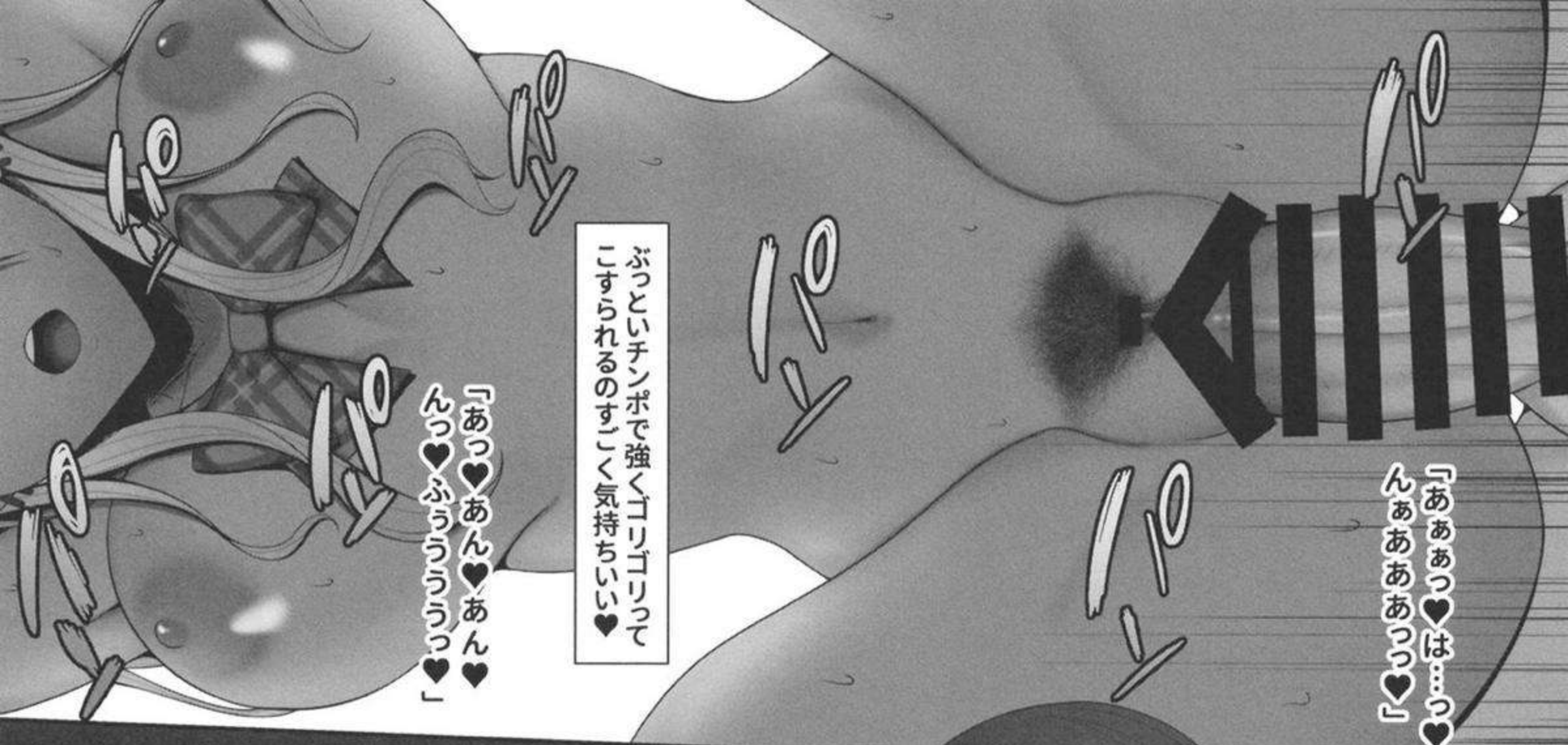
「次に乳首を舐めながら
チンポをこねくり回して」

「あ……あ……♡」

あつ

あつ

あつ



「あああ♡は…♡
んあああ♡♡♡」

「ぶっといチンポで強く♡♡♡
♡♡♡すられるのす♡♡♡気持ちいい♡♡♡」

「あ♡♡あん♡♡あん♡
♡♡♡ぶっ♡ぶっ♡ぶっ♡♡♡」



「愛依ちゃんそんなに気持ちいい？」

「うん…♡マジでヤバい♡
♡♡♡オジサンのチンポす♡♡♡すぎ♡♡♡」

「オジサンのチンポでもっと
ウチのマン♡掻き回してえ♡」

「もっともっと気持ちよく
してあげるからね♡♡♡」

「うん♡
ウチのこともっと
気持ちよくしてえ♡」

「マンコマンコのチンポ気持ち良さ〜♡
んっ…はあ…やばっ…なんがキチャウ〜♡」

「愛依ちゃん？」

「んっ…おっ…はあ〜♡
あっ…んはあああ〜♡」

あ

あ

あ

あ

あ

「おっ！
愛依ちゃんの潮吹き♡」

あ

「はあああっ♡止められないのぉ♡
また…キチャウ…ツ♡あっ…んっ♡
ふあっ…あああああっ♡」

あ

「愛依ちゃんのオマンコすごいよ…
ほら入り口がパコパコ痙攣してる♡」

あ

「んはあ〜♡
もうマンコで恥ずか〜♡」

「もういや〜♡
恥ずかしいからあんま見ないでえ♡」

「あっ♡ほっ♡ひゅ♡
うっ…ああ♡んおあ♡」

「ほらピストンするたびに
愛依ちゃんのお尻の穴が
ヒクヒクしてるよ♡」

「もっ恥ずかしい〜♡
んっ…♡ふっ…♡んあ♡あっ…♡
そんな実況しなくていいから♡」

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

「おっ…おあ…♡
んっ♡んっ♡んあ♡
はああああ♡ツ♡」

「あっ…おあ…♡
お…おおおあ…♡
はあ♡はあああ…♡」

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

「オジサンのチンポ……ッ
んっ……最高……♡
もっとウチのマンコを
チンポで掻き回してえ♡」

「くぅ……
オマンコの締まりが
一段とキツくなって……」

「はっ♡はっ♡はあッ♡
んうう♡くっ……ふううう♡
は……んあああ……ッ♡」

「愛依ちゃん……ッ
もう……イキそう……」

「また中に出して
いいんだよね……ッ!？」

「んっ……うん……いいよ♡
オジサンの熱いザーメニを
ウチの中にドピュッ……ッて
いっぱい出してえ♡♡♡」

あーッ

あーッ

あーッ

あーッ

あーッ



「はあく…はあく…♥
三回目なのにすんじ量W」

「さすがにもうカラッポだよ…」

「オジサンお疲れ〜〜♥
とても気持ちよかったよ♥」

「ねえ…こっちにきて
きれいにしてあげる♥」

「んっ…ちゅっ♥
れちよぬちゅ〜〜♥
あつ…また反応してるW」

「愛依ちゃんもう勘弁して…」

「え〜…しようがないなあW
オジサン一緒にお風呂入ろ♥」



「はいこれウチの直アド」

「え…?」

「オジサンのこと気に入っちゃった♥
今度からはタダマンでいいからさあ
やりたくなくなったら呼び出してよね♥」

「Jo…」

【誌名】愛依ちゃんのアルバイト
【著者】柊はじめ
【発行元】Re:Cre@tors
【発行日】2019年8月12日
【連絡先】recreators1990@gmail.com
【印刷所】プリンティングイン株式会社
pixiv FACTORY BOOKS

愛依ちゃんの
アルバイト